

令和元年度 事業報告

令和の御代となって祝賀のための様々な儀式が執り行われ、本県においても祝賀ムードが盛り上がっていたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が日本社会を一変させ、世界を震撼させる事態となった。政府は新型コロナウイルス感染症を含む新型インフルエンザ等特別措置法の一部改正を行い、同特措法に基づく緊急事態宣言を発令するに至り、医療従事者は感染者の隔離、治療に懸命な努力を続けており、入院治療、外来医療、公衆衛生等での薬剤師の貢献も重要となっている。本会としては、近年多発する風水害への対応とともに、感染症対策においても薬剤師が求められている責務を果たせるよう、業務継続計画の見直しに着手するとともに、災害協力協定書の見直しや災害薬事コーディネーターの設置等を新潟県に要望し、意見交換を行った。

昨年11月には、医薬品医療機器等法の改正案が可決成立し、12月に公布され、経過措置のある事項は3年間をかけて順次施行されることとなった。「認定薬局」に話題が集中している感否めないが、薬局の定義が見直され、薬剤師が果たすべき医薬品の適正使用に必要な情報提供と薬学的知見に基づく指導を行うことが、薬局の機能として法律上でも位置づけられたと言える。本会は、その主旨を十分理解してもらえよう、会員への周知に努めた。

昨年末に2020年度の診療報酬等改定率が決定され、医科:調剤の改定比率は1:0.3が堅持されるとともに、前回、前々回に実施された調剤に対しての外枠でのマイナス分は含まれないこととされた。また、対物業務から対人業務への転換の観点からの点数が新設され、病院薬剤師の業務の評価が盛り込まれたことは、かかりつけ機能の強化がますます求められ、一元的・継続的な服薬管理、地域包括ケアシステムへの参画等、外来医療の中で薬剤師が医薬品適正使用の責任を担えるかが正念場である。

本会は、令和元年度に厚生労働省の「地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業」を再委託により県から受託し、「かかりつけ薬剤師・薬局」の一層の定着を図るため、地域住民への啓発や薬薬連携を目指した人材育成、入退院時における薬薬連携等のモデル事業を実施した。

一方で、一部の薬局での薬剤服用歴の未記載による不適切請求や虚偽報告が大きな問題となったことを踏まえ、再発防止のための取り組みの一つとして、ビデオメッセージ等により地域薬剤師会の協力のもと、適正な保険請求を呼びかけた。

薬剤師の地域偏在が進む中、薬剤師養成のための薬学教育への対応として、改訂モデル・コアカリキュラムによる実務実習の受入体制の整備、指導薬剤師の質的向上に取り組んだ。

本会に設置されている常置委員会においては、それぞれの課題に対して繰り返し議論を行うとともに、行政や医師会等の関係団体並びに日本薬剤師会等との連携を図りながら、以下に掲げる事項に取り組んだ。

1 災害等対策の推進

(1) 災害対策にかかる整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟県病院薬剤師会及び新潟大学医学部災害医療教育センターとの共催により、新潟県災害薬事研修会を開催した。なお、当該研修会への地域薬剤師会の災害医療関係者の参加を依頼した。

講義1 新潟県の災害医療体制について

講 師 新潟県福祉保健部医務薬事課地域医療班 山崎雅幸 氏

講義2 ここ数年で発生している様々な災害における医療活動について

講 師 新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏

講義3 災害のイメージを自分のこととして身近に感じてもらうためのクロスロード

講 師 南魚沼市ときのや薬局 金井秀樹 氏

講義4 地域医療の「機能分化と連携」の視点から、各病院・各薬局の災害対応における立ち位置や役割の違いについて考えるグループディスカッション

講 師 新潟県薬剤師会 相談役

日本災害医療薬剤師学会 副会長 山岸美恵子 氏

- ② 県薬と地域薬剤師会が連携して活動できるよう、防災対策および災害時の対応等について情報提供した。
- ③ 「新潟県薬剤師会災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の初動時の対応として情報伝達のため役員及び事務局員のメーリングリストを作成し、情報伝達訓練を実施した。また、地域薬剤師会の会長及び事務局の連絡先一覧を改訂した。
- ④ 災害時に必要と思われる備蓄品等を追加購入した。
- ⑤ 新型インフルエンザ等対策訓練に参加するとともに、対応について会員へ情報提供した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(継続)

- ① 新潟県防災会議、新潟県災害医療連絡協議会及び新潟県地震・津波防災地域研究会に参加して、行政との連携体制の推進を図った。
- ② 新潟県・新潟市が主催した総合防災訓練に係る全体会議及び分科会に参加し、新潟市薬剤師会と協力して救護所での医薬品供給訓練計画を立案した。なお、豪雨による被害拡大により、訓練は中止となった。
- ③ 指定地方公共機関として、新潟県が実施した新型インフルエンザ等感染症対策の情報伝達訓練に参加した。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、医療機関におけるマスク不足対策として、新潟県を通じて国から提供されたマスクを、県内の薬局へ配布した。

(3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応するため、対策本部を設置して会員への情報提供等に努めた。
- ② 新潟県医務薬事課との業務打ち合わせ会において、災害薬事コーディネーターの設置や災

害救助協力に関する協定書の見直しについて申し入れを行って、意見交換を行うとともに、令和2年度の新潟県予算に対する要望事項として提出した。

- ③ 県薬役員の改選に伴い業務継続計画を改定した。
- ④ 新潟県が実施した「原子力災害医療研修会(安定ヨウ素剤等)」に役員を派遣した。
- ⑤ 台風第15号・19号による被災会員への義援金を会員から募り、寄せられた義援金を日本薬剤師会へ送った。
- ⑥ 新潟大学医学部災害医療教育センターが主催するPhDLSについて、会員へ周知した。

2 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証に薬剤師名簿登録番号の印字を追加して発行し、「勤務者(B)会員」の加入促進を図った。また、オーナー会議を開催して意見交換を行うとともに相談役との懇談会を開催した。

(2) 若手リーダー養成事業の実施(継続)

- ① 青年部の企画により、新潟県薬剤師連盟と共催により若手薬剤師の指導者養成を目的とした「令和元年度若手薬剤師フォーラム」を開催した。

テーマ 令和元年・新しい時代の薬剤師を考える

基調講演 研究を具現化してエビデンスを作る体系的な方法

講師 下越病院薬剤科 三星知 氏

- ② 青年部の企画・運営により、若手薬剤師フォーラムフォローアップ研修を、若手薬剤師の交流等を目的とした定例集会との併催で実施した。

テーマ 令和元年・新しい時代の薬剤師を考える

(3) 青年部の活動の活性化(継続)

- ① 青年部員の交流等を図るため定例集会を開催した。

- ② 「おいしいダイエット食」をテーマとして、かかりつけ薬局として今後より一層充実した服薬指導のための知識を深めることを目的に、女性薬剤師会との共催で研修会を開催した。

テーマ 食事からの健康づくり

講師 新潟県栄養士会地域活動栄養士 佐野千代里 氏

管理栄養士 青木友美 氏

- ③ 長岡市薬剤師会からの依頼で「すこやか・ともしびまつり2019」でのブース出展に協力し、「わくわく調剤体験」を行った。また、下越薬剤師会からの依頼で「新発田市健康づくりフェスティバル」でのブース出展に協力し、薬物乱用防止啓発パネル展示、お薬手帳のデコレーションを行った。

- ④ 各地域で交流イベントを開催した他、地域医療、社会福祉への貢献事業等を実施し、部員、会員等相互の親睦を図った。

- ⑤ 令和元年度若手薬剤師フォーラム及びフォローアップ研修並びに定例集会の企画・運営を

通じ、本会事業との連携により組織強化に努めた。

- ⑥ 活動内容を青年部員に広報するため、青年部メールマガジンを随時配信するとともに、県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。部員同士の横の繋がりを強化するため、部員名簿をメールマガジンに添付して配信した。また、青年部Facebookに活動内容等を投稿し、青年部の対外的な広報を行った。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。また、事務局費交付金交付要綱の交付金申請及び交付時期等を実態に合わせるため改定した。

(5) 部会活動への支援と情報交換会の開催(継続)

組織強化策の一環として、各部会の活動を支援するとともに、活動状況等について報告した。また、部会活動のあり方と支援策について検討した。

(6) オンライン資格確認導入への対応(新規)

オンライン資格確認導入に関する医療関係団体説明会に役員を派遣するとともに、システム導入に備え会員周知を行うこととした。

3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

県薬ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報を行い、未就業薬剤師の就労促進・斡旋を行った。

4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品や一般用医薬品、薬局製剤の計画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの依頼に応じて薬局製剤の試験検査を実施した。また、日薬「令和元年度粘着力試験」を実施した。

(3) 研修会等への参加(継続)

試験検査技術の向上のため日薬試験検査センター技術研修会に試験検査室職員を派遣した。また、日薬の「医薬品試験検査に係る精度管理試験」及び厚生労働省の「登録試験検査機関間比較による技能試験」に参加した。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校及び学校薬剤師等へ販売した。

5 医療保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目的として、全保険薬局を対象に研修会を開催した。

ご案内	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会について
説明者	新潟県薬剤師会 常務理事 笠原敦子 氏
講演	個別指導における指摘事項と適正な保険調剤について
講師	新潟県薬剤師会 常務理事 小出智子 氏
特別講演	令和2年度調剤報酬改定について
講師	日本薬剤師会 常務理事 有澤賢二 氏

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所と令和2年度の保険薬局指導計画に係る事前打ち合わせ会を開催し、意見交換等を行った。

(3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報について、会誌「ジャニファ」等に掲載して周知した。

(4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について情報交換を行った。

(5) 調剤報酬改定への対応(隔年継続)

- ① 日薬主催の令和2年度調剤報酬改定等説明会に役員を派遣した。
- ② 令和2年度調剤報酬改定に関する説明会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、代わりに改定内容に関する資料を作成して県薬ホームページに掲載し、会員への周知を図った。

(6) 新潟県保険者番号等一覧表の印刷・配布(継続)

新潟県保険者番号等一覧表は印刷して配布する予定としていたが、会誌「ジャニファ」の保険薬局だよりに掲載する方法に変更して会員へ周知した。

(7) 適正な保険請求事務の啓発(新規)

薬局の適正な保険請求事務の履行に関するビデオメッセージを作成し、県薬主催の研修会等

で放映することにより啓発に努めた。

6 医薬分業に係る質的向上対策

(1) 医薬分業及び「かかりつけ薬局・薬剤師」の定着促進(拡充)

- ① 患者本位の医薬分業の実現のため、「薬と健康の週間」に合わせ、薬局にポスター、リーフレットを配布し、かかりつけ薬剤師・薬局、薬剤師の役割等について啓発に努めた。
- ② 薬剤師の継続的な服薬支援につながるよう、平成29年度に実施した「なじらね訪問」事業について、多職種等へ周知、啓発を行った。
- ③ 新潟県が受託した厚生労働省「地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業」の再委託を受け、以下の取り組みを実施した。
 - ・県民に対する薬局・薬剤師に関する実態調査の実施
 - ・協議会の開催(1回)
 - ・薬局ミニセミナーの開催(23薬局)
 - ・薬薬連携によるポリファーマシー対策研修会の開催(1回)
 - 講演 ポリファーマシーを考える ―現状から介入まで―
 - 講師 国立病院機構栃木医療センター 内科医長 矢吹拓 氏
 - 講演 ポリファーマシー対策に必要な検査値とガイドラインの活用方法
 - 講師 新潟南病院 渡部学 氏
 - ワークショップ ポリファーマシー対策
 - 講師 上越地域医療センター病院薬剤科 宮川哲也 氏
 - ・モデル病院におけるポリファーマシー事例の検証(6病院)
 - ・事業報告会の開催(1回)
 - ・事業報告書の作成、送付
- ④ 平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業の成果を広報するため日本薬剤師会学術大会にて口頭発表を行った。
- ⑤ 県薬ホームページ等を活用し、「にいがた健康支援薬局」事業を周知する等、薬局のかかりつけ機能の強化・充実を支援した。
- ⑥ 「健康サポート薬局」の整備に向け、薬局を支援するため、日薬と日本薬剤師研修センターに協力し、健康サポートのための多職種連携研修会を開催した。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

- 講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)
- 講師 日本薬剤師会 会長 山本信夫 氏
- 講演 健康サポート薬局の理念 ―地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師「私たちが目指す健康サポート薬局の姿」―
- 講師 新潟県薬剤師会 副会長 荻野構一 氏

第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状

- 講演 新潟県における健康課題と健康増進施策等について
- 講師 新潟県福祉保健部健康対策課健康食育推進係 重住京子 氏

他職種等の取り組みについて ―健康サポート薬局との連携を探る―

講演 新潟県歯科医師会における健康支援の取り組みと健康サポート薬局との連携について

講師 新潟県歯科医師会 常務理事 木戸寿明 氏

講演 新潟市の一般介護予防事業の取り組み

講師 新潟市福祉部地域包括ケア推進課 課長 関智雄 氏

講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講師 新潟県薬剤師会 副会長 荻野構一 氏

第3部 健康サポート薬局のあるべき姿や、地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携に関する演習

進行 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

- ⑦ 健康サポート薬局のための研修事業を適正に実施するため、「健康サポート薬局研修担当者全国会議」に役員等を派遣した。
- ⑧ 薬剤師のかかりつけ機能強化に関する「薬局機能強化に向けた全国会議」へ役員等を派遣した。また、患者のための薬局ビジョン推進に向けた薬剤師会の取り組みについて、会誌「ジャーニファ」に掲載して会員へ周知、啓発を行った。

(2) 処方箋応需薬局の公開(継続)

処方箋応需薬局を県薬ホームページで公開し、医薬分業の推進を図った。

(3) 休日等の医薬品供給体制整備(継続)

輪番制による休日当番薬局を県薬ホームページに掲載し、休日における薬局の開局状況を広報することにより、医薬品の調剤・供給体制の確保を図った。

(4) 厚生労働省の医薬分業に係る会議への参加(継続)

厚生労働省が主催する「平成30年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」に役員を派遣した。

(5) 医療ICT化への対応(継続)

日薬が行う薬剤師資格証の発行事業において、地域薬剤師会と連携して申請の受付業務に協力した。

(6) オンライン診療に係る緊急避妊薬の調剤体制の整備(新規)

オンライン診療に係る緊急避妊薬の調剤体制の整備に向け、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する全国担当者会議」へ役員を派遣した。日薬に協力し「オンライン診療に係る緊急避妊薬の調剤に関する研修会」の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を延期した。

7 リスクマネジメント対策

(1) 薬局における医療安全管理体制の整備(継続)

- ① 安全管理責任者の任務と調剤過誤防止をテーマにリスクマネジメント研修会を新潟県病院薬剤師会との共催で開催した。

特別講演 医療安全に関する最近の話題と薬剤師に求められること

講師 浜松医科大学医学部附属病院薬剤部 部長 川上純一 氏

- ② 「薬局プレアボイド」に関する研修会を実施するとともに、会誌「ジャニファ」にプレアボイド事例を掲載し、会員の取り組みを支援した。

第1部 まなぼう編

講演 薬局プレアボイドとは？ 詳細解析事例(CASE-DI)はどう作る？

講師 東京大学大学院薬学系研究科・育薬学講座 客員教授 澤田康文 氏

第2部 つくろう編(詳細解析事例(CASE-DI)の作成)

第3部 かたろう編(詳細解析事例(CASE-DI)の発表)

(2) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会の開催(継続)

日薬が主催する「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」に共催し、医療機器販売等の営業所管理者を対象とした継続研修会(2会場:新潟・長岡)を開催した。

講演 医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令

講師 新潟県福祉保健部医務薬事課薬務係 五井千尋 氏

同薬事指導係 平山智士 氏

講演 医療機器の品質管理、不具合報告及び回収報告、情報提供

講師 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

(3) DEM事業の広報(継続)

日薬が行うDEM事業について、会員の勤務する保険薬局に対し周知して、事業への参加を啓発した。

8 在宅医療・介護対策

(1) 在宅医療に関する薬剤師のスキルアップの支援(継続)

- ① 在宅医療における薬剤師のスキルアップを図るために、新潟県と連携して医療介護総合確保基金を活用し、地域薬剤師会の協力を得て、フィジカルアセスメント、服薬支援策・副作用モニタリング、在宅患者アセスメント、無菌調剤等にかかる以下の研修会を開催した。

・多職種との事例検討に向けた薬剤師のスキルアップ研修会

講義 介護予防のための地域ケア個別会議について

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 本間祐美子 氏

多職種の業務紹介

講義 薬剤師としての役割

講師 新潟県薬剤師会 理事 安達博 氏

模擬地域ケア個別会議

進行 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

総括 新潟県三条地域振興局健康福祉環境部地域保健課 星野明子 氏
新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 本間祐美子 氏

- ・フィジカルアセスメント研修会(4会場:三条市、新潟市、南魚沼市、長岡市)及びフィジカルアセスメントフォローアップ研修(新潟市)

講演・実技 薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

講師 地域薬剤師会研修担当講師 小出和美氏(県央会場)
地域薬剤師会研修担当講師 田中友康氏(県央会場、新潟会場)
地域薬剤師会研修担当講師 桂重之氏(新潟会場)
地域薬剤師会研修担当講師 村田幸輔氏(魚沼会場、長岡会場)
地域薬剤師会研修担当講師 藤田清貴氏(魚沼会場、長岡会場)

- ・在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会(3会場:三条市、上越市、南魚沼市)

講演 多職種連携のための在宅アセスメント

グループワーク 薬剤管理の症例検討及び多職種連携のスキルの習得

講師 地域薬剤師会研修担当講師 茨木大輔氏(県央会場)
地域薬剤師会研修担当講師 柴又良太氏(上越会場)
地域薬剤師会研修担当講師 村田幸輔氏(魚沼会場)

- ・無菌調剤に係る基礎研修会(新潟市)(DVD講義)

講義 無菌調剤室の共同利用のための手続き

講師 新潟県薬剤師会 副会長 渡邊彦 氏

講義 無菌調剤の基本的手技

講師 日本歯科大学新潟病院薬剤科・新潟県病院薬剤師会 竹野敏彦 氏

講義 輸液について～水・電解質編～

講師 新潟大学医歯学総合病院薬剤部・新潟県病院薬剤師会 山下恒弘 氏

- ・1から始める在宅経腸栄養・静脈栄養研修会

第1部 特別講演 いまさら聞けない?在宅経腸栄養と静脈栄養管理

講師 総合川崎臨港病院薬剤部 樋島学 氏

第2部 実習 在宅での薬剤経管投与時に必要な知識と対応

グループワーク 在宅静脈栄養への対応

進行 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏

- ・無菌調剤室の共同利用の契約に必要な知識・技術の習得を図り、無菌調剤室の共同利用の推進を目指し、「無菌調剤室における実技研修」を計8回開催した(新潟、下越、長岡)。

- ② 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画「認知症ケア人材育成事業」の一環として、新潟県より「平成30年度新潟県薬剤師認知症対応力向上研修事業」を受託し、以下の研修会(2会場:新発田市、上越市)を開催した。

- ・薬剤師のための認知症対応力向上研修会

第1部 講義 薬剤師認知症対応力向上研修

基本編

講師 医療法人社団有心会有田病院 医師 有田正和 氏(下越会場)
総合リハビリテーション・みどり病院 病院長 成瀬聡 氏(上越会場)

対応編

講師 地域薬剤師会研修担当講師 荏原健志 氏(下越会場)
地域薬剤師会研修担当講師 本間雅克 氏(上越会場)

制度編

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉班 本間佑美子 氏(下越会場、上越会場)

第2部 薬剤師の対応グループワーク

講師 新潟県薬剤師会 理事 安達博 氏(下越会場)

講師 地域薬剤師会研修担当講師 本間裕也 氏(上越会場)

- ③ 地域薬剤師会における在宅医療の推進を支援するため、在宅医療に係る地域薬剤師会担当者会議を開催し、情報交換を行った。
- ④ 在宅医療における薬剤師の活動事例等からの学術的寄稿を会誌「ジャンファ」に掲載し、薬剤師の資質向上を図った。
- ⑤ 介護予防のための地域ケア個別会議へ助言者として参加する専門職の意見交換会の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を延期した。
- ⑥ 薬剤師の視点で栄養食事指導が必要と思われる対象者を管理栄養士に紹介し、管理栄養士による対象者への訪問栄養食事指導を依頼した。

(2) 医療・福祉等との連携促進(拡充)

- ① 新潟県と連携し地域医療介護総合確保基金を活用して、地域薬剤師会における在宅医療に係る多職種との連携の促進を図った。
 - ・介護サービス事業者等を対象とし、「おくすり相談会」を5回開催し、多職種延べ81名が参加した。
 - ・無菌調剤室共同利用の推進に係る多職種連携会議を開催した。
 - ・県内の居宅介護支援事業所725施設を対象とした薬剤師の訪問薬剤管理指導業務に関する調査の実施し、薬剤師業務への理解度を把握した。
 - ・介護サービス担当者向け小冊子「薬剤師にご相談ください」を作成した。
 - ・医療関係者向け小冊子「在宅医療における注射薬利用の手引き」を増刷した。
 - ・介護サービス担当者向け啓発チラシ「保険薬局の薬剤師が在宅訪問します」を増刷した。
 - ・県薬ホームページの「薬局紹介」の情報を更新した。
- ② 多職種との連携促進を図るため、「在宅ケアを考える集い in 越後2019」及び「在宅ケアを考える集い in 越後2020」の開催に向け実行委員会に参画した。
- ③ 自立支援のための介護予防に関する地域ケア個別会議へ助言者等を派遣した。また、助言者となる専門職6職種間での調整を行った。

- ・14市町村で開催された介護予防のための地域ケア個別会議へ計73回助言者を派遣した。また、地域における助言者を育成するため、同会議の見学者として延べ36名の薬剤師を派遣した。
- ・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会へ参画した。
- ・関係団体の学術大会等へシンポジストや講師を派遣して連携を図った。

9 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)

- ① 健康サポートのための薬剤師の対応研修として、「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会(腹痛編)」を開催した。
 - ・健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)
 - 講義 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局
 - 講師 新潟県薬剤師会 常務理事 笠原敦子 氏
 - 講義 薬局利用者の状態把握と対応(題材:腰痛)
 - 講師 昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門 教授 木内祐二 氏(DVD講義)
 - 演習進行 一般用医薬品・薬局製剤・漢方委員会本部委員 槇坂幸恵 氏
- ② 一般用医薬品販売制度やセルフメディケーション税制について、会誌「ジャンプ」及び県薬ホームページ等で広報し、会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援した。

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 日薬の「医薬品販売制度に関する自主点検」を実施し、会員薬局の法令遵守を啓発した。
- ② 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者への研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催して3回開催し、第2回研修会に講師を派遣した。また、この研修会のDVDを利用し、補講と通信講座を共催した。
 - 講義 アンチ・ドーピングについて
 - 講師 新潟県薬剤師会 副会長 松島邦明 氏
- ③ 登録販売者の通信研修として新潟県医薬品登録販売者協会の通信講座や日本薬剤師研修センターのeラーニングについて会員に周知・サポートした。

10 薬局製剤の推進

(1) 薬用植物観察会の開催(新規)

県内に自生する薬用植物を探索し、講師の解説により生薬に関する知識の向上を図った。

講師 一般用医薬品・薬局製剤・漢方委員会 本部委員 廣橋義和 氏

11 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 認定実務実習指導薬剤師資格更新への対応等も含めた実務実習生受入薬局への支援を強化し、受入体制の整備を図った。

- ・認定実務実習指導薬剤師認定更新のための講習会を開催した。
- ・関東地区調整機構からの依頼を受け、2020年度薬局実務実習受入に関する調査を行い、その結果を報告した。
- ② 充実した実務実習を実現するため、薬局実務実習地域薬剤師会担当者会議を開催した。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ及び講習会を開催した。
 - ・認定実務実習指導薬剤師養成講習会(DVD講義)
 - 講座1 薬剤師の理念
 - 講師 日本薬剤師会 会長 山本信夫 氏
 - 講座2 薬学教育モデル・コアカリキュラム及び薬学実務実習に関するガイドライン
 - 講師 名古屋市立大学 教授 鈴木匡 氏
 - 講座3 学生の指導方法について
 - 講師 弁護士・薬剤師 赤羽根秀宜 氏
 - 日本薬剤師会 山田純一 氏
 - 日本病院薬剤師会 石井伊都子 氏
 - ・認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ
 - 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップを薬学教育協議会、関東地区調整機構、高崎健康福祉大学、新潟県病院薬剤師会、群馬県薬剤師会、群馬県病院薬剤師会と共催し、タスクフォース等や参加者を派遣した。

(2) 関東地区調整機構・日薬会議への参加(継続)

- ① 薬学生実務実習の円滑な実施を図るため、日薬の薬局実務実習担当者全国会議及び薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議に役員を派遣した。
- ② 薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等について協議する関東地区調整機構総会、病院薬局関東地区調整機構指導薬剤師養成小委員会及び薬局小委員会に役員等を派遣した。
- ③ 新潟薬科大学及び新潟県病院薬剤師会と連携して、改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習後の課題や実務実習の質を向上させるための施策について討議した。
- ④ 臨床実務実習事前説明会、臨床実務実習シンポジウムに役員を派遣した。

12 地域保健対策の推進

(1) 「消費者のための薬のセミナー」の開催(継続)

地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、「消費者のための薬のセミナー」を142回開催した。

(2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

- ① 薬物乱用防止啓発資材(ポケットティッシュ)を作成し、県を通じて県民へ配布した。
- ② 新潟県等の依頼を受け、薬物乱用の未然防止を図るためのポスターやリーフレット等の啓発資材を地域薬剤師会へ送付し、薬のセミナーや他団体等が主催する健康まつり等のイベント

で配布して広報に協力した。

- ③ 新潟県薬物乱用防止対策推進本部会議の本部委員として参画し、行政との連携を図った。

(3) 薬事衛生指導員研修会の開催(継続)

新任等薬事衛生指導員の養成及び資質向上を図り、新たに指導員の発掘を図ることを目的として研修会を開催した。

- 講演 消費者のための薬のセミナー事業について
- 講師 新潟県薬剤師会 常務理事 市橋直子 氏
- 講演 心をつかむ伝わる話し方
- 講師 フリーアナウンサー 菊野麻子 氏

(4) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 新潟県薬事団体連絡協議会との共催により、長岡市薬剤師会と連携して「薬と健康展」を開催した。
- ② 長岡市が主催する「すこやか・ともしびまつり2019」に長岡市薬剤師会と協力してブースを出展した。
- ② 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会に参画するとともに、新潟はっぴー乳ライフ主催「ピンクリボンホリデー2019」にブース出展した。
- ③ 新潟県健康づくり財団が主催するがん征圧新潟県大会併設「生活習慣病予防展」に長岡市薬剤師会の協力を得てブース出展した。
- ④ 健康増進関連団体等が主催する行事に地域薬剤師会の協力を得て参加した。
- ⑤ ジェネリック医薬品について正しい知識を県民へ啓発し、ジェネリック医薬品の利用促進を目的としたテレビ番組を制作して放送した。また、薬のセミナー等を活用し、ジェネリック医薬品の説明等を行うとともに、他団体主催の健康関連イベントにて啓発資材を配布した。
- ⑥ お薬手帳の活用等について県民の理解を深めるために、啓発資材を作成して薬のセミナー及び他団体等が主催する健康関連イベントの参加者に配布して広報・啓発に努めた。
- ⑦ かかりつけ薬局を県民へ広報・啓発するため、チラシを増刷し、薬のセミナーや他団体等が主催する健康関連イベントの参加者に配布した。
- ⑧ 厚労省及び日薬が作成した「知っておきたい薬の知識」を購入し、他団体等が主催する健康関連イベントの参加者に配布して、正しい薬の知識の普及・啓発を図った。

(5) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① 自殺予防に対する薬剤師の意識向上を図るため、地域薬剤師会(長岡市薬剤師会及び魚沼薬剤師会)が主催する研修会(ワークショップ)へ講師を派遣した。
- ② 自殺危機にある人に対し、薬剤師が服薬指導等のなかで、実際にどのように「気づき」・「つながり」ができるかなど、今後の対応についてのスキルを身につけることを目的とし、自殺予防ゲートキーパー集合研修会を開催した。

- 講演 新潟県薬剤師会の自殺予防対策事業の取り組みと事例紹介

講師 ルーテル学院大学自殺危機初期介入スキル研究会認定講師
新潟県薬剤師会 地域保健委員会本部委員 今井理央子 氏

講演 新潟県の自殺の現状と分析について

講師 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 榎田健 氏

講演 あなたの優しさが、また優しさを生む。「心の駅」はそんな場所。

講師 特定非営利活動法人おぢや元気プロジェクト理事長 若林和枝 氏

- ③ 民間団体補助金事業の適切な実施と団体間の連携強化を目的とした民間団体による地域
支え合いの輪構築事業説明会に役員を派遣した。
- ④ 新潟県の自殺の現状について危機意識を共有し、官民一体となった自殺予防対策を推進
する目的で開催された自殺予防対策推進県民会議に役員を派遣した。
- ⑤ 厚生労働省の自殺予防対策を推進するため、お薬相談窓口(フリーダイヤル)を支援情報検
索サイト及び新潟県の心のセーフティネットに登録した。

(6) 禁煙対策の推進(継続)

県民への理解を深めるために、他団体等が主催する健康関連イベント等で、啓発資材を配布
するなどして広報・啓発した。

13 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止のための研修会の開催(新規)

ドーピング防止対策に関わる薬剤師の資質向上のため、日本アンチ・ドーピング機構主催のス
ポーツファーマシストのための情報提供研修会(Live On Seminar)の開催に協力した。

(2) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2019を会員薬局及び会
員所属の医療機関に配布した。
- ② ドーピング防止に関する情報を会誌「ジャニファ」等で広報した。

(3) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、日薬が主催する都
道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会に役員等を派遣した。

(4) 他団体との協力(継続)

新潟県医師会の健康スポーツ医学委員会へ講師を派遣し、ドーピング防止活動を推進した。

14 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルの活用による県民からの薬に関する
電話相談に応じた。

15 学術研修・生涯教育の充実

(1) 新潟薬学会の開催(継続)

会員の研究発表及び薬剤師としての学術的研鑽を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により第160回新潟薬学会の開催を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(2) 学術研修会の共催(継続)

新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」、新潟県女性薬剤師会研修会等を共催した。また、薬剤師に関連のある各種研修会等を後援して広報することにより、薬剤師の生涯学習の機会を提供した。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

- ① 日薬の生涯学習支援システムJPALSの広報・啓発に努めた。
- ② 薬剤師の生涯学習を推進するために、生涯学習地域薬剤師会担当者情報交換会の開催を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。
- ③ 日薬の薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業として開催する次世代薬剤師指導者研修会に役員等を派遣した。

16 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

- ① 会誌「ジャニファ」を年4回発行して、会員の学術的研鑽や会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努めた。また、県薬事業の広報強化、会員への情報提供を図った。
- ② 日本薬剤師学術大会等取材して、参加報告を会誌「ジャニファ」に掲載して広報に努めた。

(2) 日薬データベースへの参加(継続)

日薬データベース「Bunsaku」共同入力事業に参加した。

(3) 図書及び情報の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実を図るため、図書及び情報等の整備に努めた。また、薬物乱用防止教室のための資料等の貸し出しを行った。

(4) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬が主催する薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会に職員を派遣した。

(5) 県薬ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会のホームページを管理し、内容の充実に努めた。

(6) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

17 学術研究倫理審査

(1) 学術研究についての倫理審査(継続)

人を対象とする医学・薬学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修会の開催(継続)

薬剤師を対象とした研究倫理に関する研修会の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。なお、会員に対してe-ラーニング等による研究倫理の研修受講方法を案内した。

(3) 研究倫理に関する研修会・講習会への参加(継続)

日薬が主催する「研究倫理に関する全国会議」に参加して情報収集を行った。

18 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、三師会との連携を強化した。
- ② 新潟県三師会連絡協議会の事業・目的である県民の医療、保健、福祉に関する事項を達成するため、三師会による県民のための健康セミナー実行委員会へ参画し、三師会主催の一般県民向けの健康セミナーを開催した。
- ③ 三師会社会保険担当理事連絡協議会へ参加して、指導状況等について情報交換を行った。
- ④ 三師会・国保連合会・支払基金保険事務懇談会に出席した。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 同協議会に設置されている在宅ケアにおける多職種協働推進委員会、健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会等に参画して構成団体と連携を図った。
- ③ 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、新潟県民医療推進協議会が主催する県民・多職種等を対象とした「健康寿命延伸フォーラム2019」へブース出展した。

(3) 新潟県薬事団体連絡協議会との連携(継続)

- ① 構成団体相互協力のもとに、業界の発展、公衆衛生の向上及び県民の健康維持増進に寄

与することを目的とする新潟県薬事団体連絡協議会に参画して連携を強化した。

- ② 新潟県薬事団体連絡協議会の事務局を担当して総会を開催し、薬と健康展等の事業の運営を担った。

(4) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ④ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑤ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑥ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑦ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑧ 新潟県学校保健研究大会に出席した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑫ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑬ その他関係団体との連携を強化した。

19 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

20 薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への参加(継続)

会員の資質向上に寄与するために、日本薬剤師学術大会に役員等を派遣し、参加した役員が会誌「ジャニファ」等で報告した。

(2) 北陸信越薬剤師大会等への参加支援(継続)

北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への会員の参加支援を行うとともに、参加報告を会誌「ジャニファ」へ掲載して会員へ情報提供を行った。

【 附 属 明 細 書 】

事業報告を補足する事項はありません。